

# 街路樹

## 学力向上に向けて 39

### ～メンタリング～

皆さんにとって、次の問いから思い浮かぶ人は誰でしょうか？  
「今、あなたを支えてくれる人(支援者)は？」(校長先生、主任)  
「今、あなたが支えている人(被支援者)は？」(同僚、後輩、...) 何人、思い浮かんだでしょうか。

今まで当たり前に行われていた『仕事を通して、先輩の先生が先輩に教える』ことが、少し滞っている場合は、次のことを組織的・計画的に実施することを考えてみてはどうでしょうか。

それは、「指導力の向上(キャリア支援)」と「心理的支援」という2つの支援についてです。

この支援を、コーチングやカウンセリングとは少し違う『共に学びながら一定期間継続して支援する』という、メンタリングの考え方で進めてみるのです。このメンタリングの機会は、会議とかではなく、インフォーマルな場面に行われることが多いようです。

#### 【支援と被支援の例】

機能	役割	支援例
指導力の向上 (キャリア支援)	スポンサーシップ	仕事がうまくいくように関係者にはたらきかける。
	指導	仕事のやり方“コツ”を教える。
	保護	言われのない非難を受けたとき、トラブルの対処をする。
	表出	他(学年)のキーパーソンにひきあわせる。
	挑戦的な仕事の提供	新しい知識やスキルを学ぶことができる仕事を与える。
心理的支援	ロールモデル	手本となるような言動をする。(相互参観)
	カウンセリング	話を、相手の立場に立って聴く。
	受容と確認	よいところを認めて、それを伝える。
	フレンドシップ	親密な交流によってよりよい関係を築く。

メンタリングには、2つの効果が考えられます。1つは、被支援者を育てることで自分自身も成長していくということ。2つ目は、メンタリングを通して、コミュニケーションが改善され組織的に仕事を進めるようになるということです。

メンタリングに限らず、相互支援、OJTなど、職員室文化として行われていたことを、一度、視覚化してみてもどうでしょうか。

## 今月のひとこと ④

### ～「を」と「で」の違いを考える～

教科書「を」教えるのは普通の先生で、よい先生は教科書「で」教えるとよくいわれる。教科書「を」さえ教えられないで、どうして教科書「で」教えるのかという疑問。よい先生とは、教科書「を」教えながら、教科書「で」教えることもできる先生ではないかということである。

食育も同じで、食「を」教えるだけでなく、食「で」マナーを教えるなければならない。

「を」は目的で、「で」は手段を表すというが、モンブランのボールペンで字を書いていたとき、先輩の老教授から、何「で」書くかより、何「を」書くかの方が大切なのだと言われ、ギクッとしたことがある。

日本教育文化研究所所長、お茶の水女子大名誉教授 森 隆夫氏

教職研修2009. 7

## 授業改善・指導技術 29

### ～ノート指導 その2～

#### ◆板書をノートさせるとき◆

自分のノートづくり(自分の考えを書いたり図示したりするなど)を指導するとともに、次の「板書をノートする意義」を考えさせ、ノートを学習に役立たせるようにしたい。

〈書き写しながら〉

①学習したことがまとめられる。(深められる、確かめられる)

②わからなかったことが理解できる。

③考えをひろげることができる。

〈書き写すことによって〉

①後の学習に生かすことができる。

②後で復習することができる。

板書は、多くの内容が凝縮され、これを写すことにより、自然と内容のまとめの学習をしていることになる。(教師には構造的な板書が求められる)

板書をノートさせるためには、ノートする時間を与えることが大切である。そして、その時間**机間指導**(前号参照)するとよい。

#### ◆考えをまとめるノート◆

自分の考えをまとめるノートとは、発表しやすいノートとも関連する。それには、例えば、次のような自分の考えがわかりやすい書き方を工夫するように指導するとよい。

○箇条書きにする ○見出しをつける ○図・絵・数字・記号などを使う ○字の大きさに変化をつける ○色をつけるなど

#### ◆文字の乱暴な子のノート指導◆

ノートの文字が美しく、整然と書かれているのは好ましいが、ノートの機能を考えると、次のような読みやすいことにポイントを置いて指導するとよい。

○書く時間を十分確保し読みやすく書くように日常指導する

○教師自身が文字を丁寧に書くとともに、掲示物にも配慮し、文字への関心を高める ○鉛筆の長さや消しゴムの大きさなどを点検する ○鉛筆の持ち方や姿勢にも気を配る ○よいノートを利用する(良いノートの回覧・展示、ノートコンクール)

#### ◆消しゴムの使い方◆実態、指導方針等により約束を決める

消しゴムを使った方がよい場合は、人に見せるためのもの(掲示物、手紙など)や板書の写し間違いや書きまちがいの場合とし、それ以外は、消しゴムを使わないで上から線を引いて直させるようにするなど。

## 学級経営のヒント 27

### ～係活動と当番活動～

同じ活動名であっても、係活動は、子どもの自主性が前提であり、当番活動は、全員が行うことが基本となる。教師がどんな力を育てたいかを明確にし、設定することが大切。

(例)学習係・当番、〇〇(教科)係・担当の場合

係活動・・・係の提案で学級生活の充実や向上につなげることができる。自主性、創造性を育てる。

○学習態度の話し合い、読書会の企画・運営など

当番活動・・・学級生活に必要な仕事を分担して行い、責任感を養い、所属意識を高める。

○学習に関する連絡、プリント配布や教材運搬などの世話

※ 給食係と給食当番、清掃係と清掃当番(分担)など、学級の実態や教師の意図により、子どもたちと話し合いながら、係・当番を設けるとよいのではないのでしょうか。